



みなとだより

和歌山市立湊小学校
令和7年9月号

高め合って

「実りの2学期」に



教育目標
人間性豊かで
たくましい子

校舎の中に、子供たちの声が戻ってきました。まだまだ暑い日が続きますが、空には、秋らしい巻雲が見られることもあります。校庭には、赤とんぼが飛び交う様子が見られます。季節は、少しずつ秋に向かっていきます。2学期がスタートしてすぐに夏休みの作品展があり、子供たちの夏休みの楽しみが生き生きと表現された作品をお互いに見せ合う場面も見られました。

始業式では、1年生から6年生まで全児童がまっすぐな視線を向けて、話を聞いてくれました。初めに、1学期の初めに話した3つの約束を確かめました。

1つ目は、「礼を尽くす」ことです。挨拶や感謝の言葉をしっかりと伝える子になってほしいです。2つ目は、「時を守る」ことです。自分の人生の貴重な時間を大切にし、相手の時間も大事にできる子になってほしいです。いつも時間に余裕を持って行動してほしいものです。3つ目は、「場を清める」ことです。朝の掃除を一生懸命にする子供が多いですが、普段から身の回りや生活の場を整えるよう心がけて、気持ちを穏やかに落ち着いて生活できる子供になってほしいと思います。

次に、2学期には行事なども多いですから、何事にも「やってみよう」という前向きな気持ちで物事に取り組んでほしいと話しました。サントリーの社長である鳥井さんの口癖「やってみなはれ、やってみなわかりませんで」という言葉について話しました。子供たちには、いろんなことを「やってみよう」とチャレンジしてくれることを願っています。うまくいってもうまくいなくても、やってみたという事実そのものがその子にとっての貴重な経験であり、成長の糧になります。

日常の授業や学級活動等をはじめ多くの行事を通して一人ひとりの力や可能性を伸ばすように取り組みを進めます。子供たちが楽しみにしている運動会や宿泊行事、校外学習やたてわり活動など様々な行事の中で、学年を越えて互いに学び合い、高め合いながら、教育目標である「人間性豊かでたくましい子」に育つよう取り組んでいきます。

今学期も保護者や地域の方々と共に手を携えて子供たちを育ててまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

